

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月25日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 28名 割合 73.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	1			・活動スペースやパニック時の落ち着けるスペースも十分に あると思う。 ・各クラスの広さが少し狭いように感じる。	施設基準は満たしているものの、限られたスペースで余裕がないことは承知しております。 活動内容やお子様の様子により、空き部屋を使用し、2グループに分かれたり、少人数で活動したりするなどの配慮をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27			1	・各クラスの職員配置数は、園としても適切数だと思う。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27				1 ・広すぎず、狭すぎず、子ども達にはちょうど良い環境のように感じる。 ・一日の流れが視覚化されているので、子どもは安心できると思う。	ご意見ありがとうございます。これを励みにこれからも努力して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28					・コロナ禍ということもあり、入口で検温や自動アルコールスプレー機のようなものがあると良い。 ・日常生活は特に気にならないが、オムツ替えとお昼寝のクッションは別の方が良い。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月25日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 28名 割合 73.7%

適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28				・定期的に個別支援計画を面談で確認している。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	1		3	・上記同様、面談で支援内容の確認や説明をしていただき、家族の要望もしっかりと取り入れた支援内容になっていると思う。	ご意見ありがとうございます。お褒めの言葉は何よりも職員の励みとなります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	1			・いつもありがとうございます。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	27	1			・月のプログラムは、毎日楽しそう。 ・日々、違う活動をありがとうございます。	職員間で療育内容についての共通理解を図り、日々見直しを行っております。 他の児童発達支援センターの取り組みを参考にしたり、研修で学んだことを活かしたりするなどして、できるだけ固定化しないよう工夫していきたいと思っております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4	11	9	・現状、コロナ禍では難しいと思う。 ・コロナが落ち着いたら、交流の機会があると良い。 ・ぜひ、そういう活動を見てみたい。	地域のお子様との交流は、園児さんにとってもとても良い刺激になると考えております。 過去の取り組みや園児さん達の特徴を良く評価して、コロナ禍の終息後に適切な機会を確保できるように努めたいと思っております。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月25日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 28名 割合 73.7%

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1		1	・その都度、文書で説明をしていただいている。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	28				・面談で、実際に計画表を見ながら、説明を受けている。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	25			3	・保護者対象の研修が設けられている。	保護者を対象とした研修会を定期的を実施し、家族支援の他、発達や制度などについての情報提供も行っております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28				・毎日の連絡帳をはじめ、日々共通理解できている。	時間の制約があり、連絡帳にてお伝えする内容が十分でないこともあるかもしれませんが、その際には、お電話や直接お会いした際に、詳細をお伝えさせていただいております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28				・いつもありがとうございます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	6	1	1	・コロナの影響により、集まりが中止になっている。 ・様々な行事の中止や保護者1名のみ参加ということもあり、例年より連携が取れていないように感じる(特に父親)。 ・コロナ禍で回数は減っているが、開催されている。	感染状況を鑑み、行事や集まりの一部を中止せざるを得ない状況ではありましたが、規模を縮小したり、人数を制限したりするなどして実施させて頂きました。 保護者同士の連携が取りづらい状況であることは承知しております。今後も皆様の健康と安全を最優先に考慮し、できる限りの取り組みを実施してまいります。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月25日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 28名 割合 73.7%

16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27			1	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時には担任の先生に相談させていただいているが、急ぎの時に連絡帳に書こうか、電話しようか、直接園に行っ て伝えようかなど迷うことがある。 ・いつも担任の先生や訓練の先生など、いろんな方に相談にのっていただけて、本当に助かっている。 ・いつもこちらの要望や相談に迅速に対応していただいている。 	<p>急ぎの案件に関しましては、ご遠慮なく、担任にお電話または面会にてお話し下さい。時間帯によっては、担当職員が不在の場合ではありますが、多職種の職員が勤務しておりますので、相談内容に応じて、専門の職員が対応させて頂きます。</p>
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の連絡帳や訓練時などに子どもの様子を詳しく伝えていただいている。 	<p>親子通園や訓練などを通して、お子様の成長の兆しを共に感じ取り、共有させて頂けることを職員一同、非常に嬉しく思っております。これからも適切な支援が出来るよう職員の研鑽に努めて参ります。</p>
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	2		5	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の行事、親子登園で情報は開示されているし、参観日などでも発信されている。 	
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真などを掲示する際には、事前に説明を受けている。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月25日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 28名 割合 73.7%

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策は不十分であり、不審者が園内に侵入しても気づかないと思う。 ・入園時に説明があり、何かあればその都度説明をしていた。 	<p>来場者の確認については、事務室からの目視・声かけを基本とさせて頂いております。</p> <p>来場者受付簿については、設置を検討して参りたいと存じます。</p>
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26		2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が親子別なので、子ども達の避難の様子が見られないのは残念。 	<p>火災、地震、土砂災害などを想定した訓練を毎月実施しています。</p> <p>保護者参加型の訓練に関しましては、過去の取り組みを評価し、今後導入を検討して参ります。</p>
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しみに通っている(3名)。 	
	23	事業所の支援に満足しているか	28			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが毎日笑顔で登園できているので、大変満足している。 ・とても手厚く、いつも感謝している。 ・いつも本当にありがとうございます。 	<p>ありがとうございます。今後ともそのような評価をいただけるよう、職員間の情報共有や連携を密にし、統一した支援を行うことで、日々の療育に反映できるよう努力します。</p>

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。